

## 金 切 バ サ ミ

森 下 一 期

“金属”と聞くと何となく近づきたいひびきがします。でも、缶や薄いトタン板などを使いたいことも出てきます。ジュースの缶を使ってポンポン蒸気船をつくるときには、缶を切らなければなりません。その時使うのが、金切りバサミです。これが自由に使えると 金属の板で、いろいろなものをつくることができます。

金切りバサミの主なものとして、直刃(ちやくば)と柳刃(やなぎば)があります。それぞれ、直線を切るものと、曲線を切るものです。

★金切ばさみはガタガタ 普通のはさみと大きく違うところは、金切りばさみは支点となって動くところがしっかりとめていなくて、ガタガタ動くことです。金属の切断は図②のようにスフシと切りまが(せん断と呼びます)。その時、少しすき間がないと刃をいためたりしてうまく折れません。紙や布を切る場合と違います。でもすき間が大きすぎではいけませんから、刃と刃がつくように手で押しつけます。人間の手で押しつける程度ですから、切る材料に応じて適当なすき間ができるということになります。この、刃と刃を押しつけながら切ることが、きれいに切るコツです。“〇〇とハサミは使いよう”の代表的なはさみが金切りばさみです。

★下刃を定規に、上刃を押し下げる

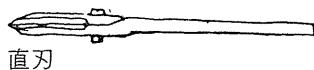
図③のように下にくる刃を板に引いてある線の下に当て、その刃がついている柄を親指と手のひらで持ちます。これはできるだけ動かさないようにして、上にくる刃を押し下げるように、その刃がついている柄(下にくる)

を他の指で引き上げるようにします。

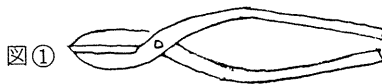
★小さい方をはさみの右に 金切りばさみで切ると、巾の狭いものは反って行きます。左側の部分を手で持つので、小さい方を右側にします。

★連続切りを 普通のはさみも同じですが、一回一回パチンと切り落してはいけません。途中でとめて切り進みます。

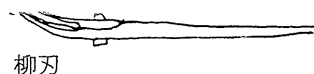
★柳刃は刃の反りを円の外側に 図④のように刃を当てて切ります。このときは、下の刃を定規のように当てることはできません。



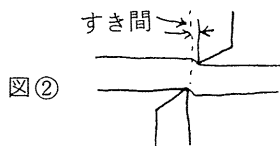
直刃



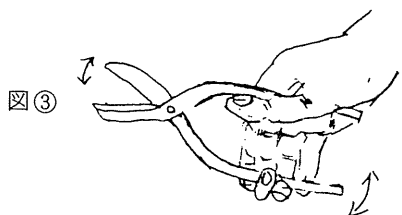
図①



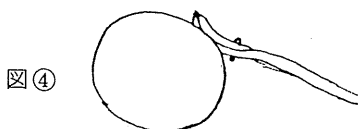
柳刃



図②



図③



図④